

も、Uターン、Iターン、Jターンの人をお迎えする職務経験者採用を行いました。平成27年4月採用では、8人の募集に対して445人の応募があり、倍率は55倍でした。

出口 すごい倍率ですね。

市長 平成28年4月採用の試験にも6人の募集に対して、240人の応募があり、倍率は40倍でした。地域の経済界の皆さんにも一緒になってUターン、Iターン、Jターンの受け入れを頑張ろうと話しているところです。

出口 私は高齢社会で一番大事なことは、極端に言えば定年の廃止だと思います。「介護」が超高齢社会の一番のキーポイントです。介護の定義をすると、寿命マイナス健康寿命が介護期間ですから、健康寿命を延ばすしか方法はありません。健康寿命を延ばすためにどうしたらいいかということ、医者ほぼ全員が「働くことが一番」と言います。

市長 生きがいを持って働き続けるということですね。

出口 極論ですが、例えばいろいろな公募をされる中で欧米のように、年齢フリーで募集してみる。他にはない画期的なことです。元気のある人が集まってくるかもしれません。

市長 最後に、ふるさと津市の皆さんへのメッセージをお願いします。



若い皆さんが私たちの未来 たくさんの経験がいい仕事を生む

出口 私は歴史が好きで、人間が誕生して20万年、どのようなことをしてきたのかを見ていると、やはり一番大事なことは、若い皆さんが私たちの未来だということです。未来の日本、未来の津をつくっていくので頑張ってもらいたい。ではどのように頑張るのかということ、まず人間は動物ですから体が元気でないとはいけません。

たくさん食べて、たくさん寝て、たくさん遊んで、元気にまた仕事をする。でもそれだけで

は足りなくて、考えなければいけません。知恵を出さなければ面白いことはできませんし、知恵を出すためには、料理と同じでいろいろな材料を集めなければなりません。私は「人・本・旅」と言っていますが、若い皆さんはたくさんの人に会い、たくさんの本を読み、いろいろな場所に行って、そしていろいろなことを学んで、そうして初めていい仕事ができる気がします。

津市美杉町(旧美杉村)の雲出川上流は、とてもきれいで私も子どものころ、川に入って一所懸命魚を捕っていました。津の若い皆さんもたまには美杉地域に行って、雲出川に入ってみてください。これも一つの旅だと思います。

市長 地域のポテンシャル、「こういう力がこの地域にはあるぞ」と元気になるお話をいただき、津市の皆さんへの応援メッセージもいただき、本当にありがとうございました。今後もますますご活躍いただきますようお祈り申し上げます。

出口 ありがとうございました。